

《2019年度教育連携協議会教育連携事業》
高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業の聴講
実施要項

1 目的

高校と大学は、高校の生徒に対して大学の授業の聴講を認めることにより、特定の分野について高い能力と強い意欲を持ち、高等学校レベルの内容にとどまらず様々な教育を受けることを希望する生徒に大学レベルの教育を履修する機会を与える。それによって、個々人の持つ多様で特色ある能力や個性を効果的に伸ばすとともに、生徒自らの進路決定への意識的な取り組みの促進を図ることを目的とする。

2 聴講科目

- 開講学部：文学部，教育学部，法学部，理学部，医学部，歯学部，薬学部，工学部
環境理工学部，グローバル・ディスカバリー・プログラム
- 授業期間：第1学期 4月8日～6月10日
第2学期 6月13日～8月8日
第3学期 10月1日～11月28日
第4学期 12月2日～2月7日
※補講については、土曜日を含め、授業担当教員が指定した日
- 時 限：6時限（15：10～16：10）
7時限（16：20～17：20）
8時限（17：30～18：30）
- 開講授業科目
：開講授業科目は別紙参照（本学ホームページよりシラバス閲覧可能）
シラバス確認→http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

3 受入れ人数及び受入れ条件

受入れ人数は、授業科目毎に定められた人数（別紙参照）とする。
受入れ条件は、高校の校長からの推薦を受けた生徒とする。

4 聴講の申込み及び聴講の決定

高校は、聴講を希望する生徒のうち校長の推薦を受けた生徒について、推薦書（所定様式を希望学部ごとに1枚ずつ分けて作成する）を添付して、第1学期・第2学期は2019年3月1日までに、第3学期・第4学期は2019年8月30日までに大学に申込む。大学は、聴講を許可する生徒を決定し、第1学期・第2学期は2019年3月22日までに、第3学期・第4学期は2019年9月20日までに高校に通知する。

5 聴講証

大学は、聴講証を発行しない。聴講する生徒は、高校の発行する生徒手帳を携行し、これをもって聴講証とする。

6 成績の評価

大学は、高校の生徒が聴講した授業科目の成績評価は行わない。ただし、授業の出欠状況が良好な生徒については、修了証書を発行する。

また、本事業で聴講した科目について、高校の学校設定教科として単位認定を行うかどうかは、各高等学校の判断によるものとする。

なお、本事業は、聴講した科目を大学の単位として認定するものではない。

7 聴講の費用

聴講料は、無料とする。ただし、授業に使用するテキスト代及び授業にかかるその他の費用は、生徒各自が負担する。

8 事故の免責

聴講中の不慮の災害事故及び聴講のための通学途中における事故等については、高校が傷害保険等に加入して責任を負い、大学は責任を問われない。

担当・問い合わせ先
岡山大学学務企画課総務・企画グループ 玉置・廣門
TEL 086-251-7186 FAX 086-251-8440
koudai@adm.okayama-u.ac.jp

2019年度「高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業」学部別科目一覧

【文学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第2学期	月	7・8	専 門 科 目	人文学概説(日本思想史a)	本村 昌文	15	
第4学期	月	7・8	専 門 科 目	人文学概説(日本思想史b)	本村 昌文	15	

【教育学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1学期	月	7・8	専 門 科 目	中等美術科内容論(工芸Ⅰ)	山本 和史	2～3	
第2学期	月	7・8	専 門 科 目	中等美術科内容論(工芸Ⅱ)	山本 和史	2～3	第1学期の中等美術科内容論(工芸Ⅰ)の単位を修得しなければ、履修できない。
第1学期	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科指導法A(1)	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第2学期の中等社会科指導法A(2)もあわせて受講すること。
第2学期	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科指導法A(2)	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第1学期の中等社会科指導法A(1)もあわせて受講すること。
第1学期	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科内容論(世界史AⅠ)	飯田 洋介	若干人	
第2学期	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科内容論(世界史AⅡ)	飯田 洋介	若干人	第1学期の中等社会科内容論(世界史AⅠ)の単位を修得しなければ、履修できない。
第1学期	木	7・8	専 門 科 目	中等社会科内容論(経済学AⅠ)	大熊 正哲	無制限	
第2学期	木	7・8	専 門 科 目	中等社会科内容論(経済学AⅡ)	大熊 正哲	無制限	第1学期の中等社会科内容論(経済学AⅠ)の単位を修得しなければ、履修できない。
第3学期	月	7・8	専 門 科 目	気象学(1)	加藤 内藏進	若干人	第4学期の気象学(2)もあわせて受講すること。
第4学期	月	7・8	専 門 科 目	気象学(2)	加藤 内藏進	若干人	第3学期の気象学(1)もあわせて受講すること。
第3学期	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科指導法B(1)	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第4学期の中等社会科指導法B(2)もあわせて受講すること。
第4学期	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科指導法B(2)	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第3学期の中等社会科指導法B(1)もあわせて受講すること。
第3学期	火	7・8	専 門 科 目	知的障害者生理・病理学概論Ⅰ	大守 伊織	10	
第4学期	火	7・8	専 門 科 目	知的障害者生理・病理学概論Ⅱ	大守 伊織	10	第3学期の知的障害者生理・病理学概論Ⅰの単位を修得しなければ、履修できない。

【法学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1学期	火	7・8	専 門 科 目	現代政治入門	成廣 孝	5	

【理学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1学期	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 I a	未定	若干人	第2学期の現代数学要論Ibと合わせて履修してください。
第2学期	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 I b	未定	若干人	第1学期の現代数学要論Iaと合わせて履修してください。
第1学期	金	7・8	専門科目	分子生物学 I A	富永 晃	10	第2学期の分子生物学IBと合わせて履修してください。
第2学期	金	7・8	専門科目	分子生物学 I B	富永 晃	10	第1学期の分子生物学IAと合わせて履修してください。
第3学期	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 II a	未定	若干人	第4学期の現代数学要論IIbと合わせて履修してください。
第4学期	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 II b	未定	若干人	第3学期の現代数学要論IIaと合わせて履修してください。
第4学期	木	7・8	専門科目	地形学概説	隈元 崇	若干人	

【医学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1学期	水	6	専門基礎科目	医学概論	松川 昭博	10	
第2学期	水	7・8	専門基礎科目	形態・機能学 II	田口 勇仁	5	第1学期「形態・機能学 I」、第2学期「形態・機能学 II」IとIIの連続性なし。

【歯学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第3・4 学期	火	6・7	専門基礎科目	細胞生物学	沢 禎彦	5	第3学期, 第4学期連続開講

【薬学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1学期	火	7・8	専門科目	薬用植物学	谷口 抄子	若干人	

【工学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第3学期	火	7・8	専門科目	微分積分B	豊田 啓孝	10	
第4学期	火	7・8	専門科目	電気通信系入門	野上 保之	10	

【環境理工学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1学期	火	7・8	専門科目	環境物理化学A	永禮 英明	5	
第4学期	木	7・8	専門科目	大気環境学	岩田 徹	5	

【グローバル・ディスカバリー・プログラム】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1学期	火	7	専門基礎科目	Organizational Behaviour (Basic)	Yuan Yuan Gong	3	火・金で連続した内容ですので、どちらの受講も必須です。授業は全て英語で実施するため、履修にあたっては、TOEFL iBT 80, IELTS 6.0相当の英語力が必要です。推薦書に英語能力試験のスコアを明記してください。
	金	7					
第4学期	月	7	専門基礎科目	Comparative Global Perspectives on Nonprofits, Volunteering, and Giving	Takayuki Yoshioka	3	月・木で連続した内容ですので、どちらの受講も必須です。授業は全て英語で実施するため、履修にあたっては、TOEFL iBT 80, IELTS 6.0相当の英語力が必要です。推薦書に英語能力試験のスコアを明記してください。
	木	7・8					